学　習　の　指　針（シラバス）

教科名	技術家庭科(家庭科)	実施学年	１年	週時数	２時間

１　学習の目標等

学習の目標	これから生きていくための生活の見方・考え方や様々な技能の仕方や考え方を働かせ、より良い生活の実現や持続可能な社会を作って行くために生活を工夫し創造する能力と取り組む姿勢を身につける。 （１）生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 （２）生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 （３）より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
使用教科書 副教材等	(開隆堂)技術・家庭　家庭分野

２　学習計画及び評価方法等

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価	備考
第１学期	4 5 6 7	・ガイダンス ・評価表作成 ・お守りづくり ・千羽鶴つなぎ ・お弁当箱作成	・1年間の授業内容を知り、自分で課題を設定し文章で表現する。 ・定規を使った細かい作業に取り組み、丁寧に最後まであきらめずに取り組み完成させる。 ・小学校で学んだ基礎縫いの手法を使い３年生への合格祈願お守りを作る。 ・自分で食べたいお弁当の中身をデザインし、実際にフェルトを使い縫い上げて完成させる創造力と技術力を高める。	レポート作成 評価表作品 作品 作品	
第２学期	9 10	・ボタン付け ・Ｙシャツアイロン 制服アイロン ・制服名前縫い ・靴下洗濯 ・雑巾縫い	・ボタンのつけ方の手法を学び様々な修繕の仕方を知る。 ・アイロンの使い方を知り、生活に役立つよう手法を覚える。 ・手縫いの手法見栄えの良い名前を作り魅せ方の手法を知る。 ・衣服の洗濯方法を知りの汚れを自分で洗う ・ミシン操作を知ることで、幅広い縫物を	作品 制服作品 制服 靴下 雑巾	

	11 12		作ることができる。		
第 3 学 期	1 2 3				

3　評価について

評価の観点及び内容・評価材料

観点	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	・衣生活と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解していると共に、適切にできる。洗濯・補修 ・製作するものに適した材料や縫い方について理解していると共に、用具を安全に取り扱い、製作ができる。	・フェルトで作るお弁当箱 ・Ｙシャツアイロン ・制服名前縫い ・靴下洗濯 ・葉っぱで作る基礎縫い ・ボタン付け
思考・判断・表現	・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・フェルトで作るお弁当箱 ・制服名前縫い ・葉っぱで作る基礎縫い ・ボタン付け
主体的に学習に取り組む態度	・よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた制作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	・フェルトで作るお弁当箱 ・Ｙシャツアイロン ・評価表感想 ・ガイダンス感想 ・千羽鶴つなぎ

☆印の項目は、授業に欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。